

## 平成28年度第1回新居浜市総合教育会議会議録

- 1 開催日時 平成29年1月16日（月）15：30～16：50
- 2 開催場所 市長応接室
- 3 出席者 新居浜市長 石川勝行、教育長 関 福生  
教育委員 三木由紀子、伊藤嘉秀、宮内文久、長野美和子  
事務局  
企画部長、教育委員会事務局長、教育力向上戦略監  
教育委員会事務局次長  
総合政策課長、社会教育課長、学校教育課長、総合政策課主事
- 4 会議事項 (1) 小学校の適正規模、適正配置について  
(2) コミュニティ・スクール導入について

### 5 会議録

企画部長	定刻になりましたので、ただ今から、平成28年度第1回新居浜市総合教育会議を開催いたします。 まず、委員の皆様の出席状況ですが、全員出席でございます。 また、会議公開の取扱いについてでございますが、本日の会議につきましては、非公開とする内容はないと考えられますので、原則どおり、本日の会議を公開とし、傍聴等を許可したいと思っておりますが、よろしいでしょうか。
全員	異議なし
企画部長	それでは、会議の開会に当たりまして、主催者であります石川市長からご挨拶をいただきたいと思っております。 市長、よろしく願いいたします
市長	本日は大変お忙しい中、お集まりいただきまして誠にありがとうございます。それでは、新居浜市総合教育会議の開催に当たり、挨拶を申し上げたいと思っております。 昨年はこの総合教育会議におきまして、皆様から貴重なご意見を賜り、ご協力いただいて新居浜市教育大綱を策定することができました。改めて感謝

企画部長	<p>申し上げます。</p> <p>今後は、より具体的な事項の方針や取組について、皆様のご意見、ご協力を賜りながら、新居浜市の教育行政を推進してまいりたいと考えております。</p> <p>本日、協議をお願いしたいと考えております事項も、子どもたちを始めとして、多くの市民に直接影響していく重要なものとなっておりますので、皆様からもより多くの忌憚のないご意見を伺いたいと思います。</p> <p>本日もどうぞ、よろしくお願いいたします。</p> <p>ありがとうございました。この会議の進行でございますが、この会議は市長が主宰するという形になっておりますので、以降の進行は石川市長にお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。</p>
市長	<p>それでは、これより進行を務めさせていただきます。</p> <p>まず、本日最初の協議事項であります、小学校の適正規模、適正配置についてでございます。</p> <p>現在、新居浜市では、人口減少等による財政状況の悪化が予測される中、市内にある多くの公共施設が老朽化により大規模改修や建替えが必要になる時期を迎えてきており、今後、多額の財政負担が見込まれております。</p> <p>そのため、将来の新居浜市の規模に見合った本当に必要な施設を見極め、効率的な利用が出来るように、施設の複合化・集約化や統廃合を検討することを目的として、新居浜市公共施設再配置計画の策定に取り組んでいるところでございまして、学校施設につきましても、この計画の中で、複合化や統廃合につて、考えていくこととしております。</p> <p>小学校の適正規模につきましては、小規模校、大規模校それぞれ、学習面や生活面等においてメリットやデメリットがあり、それぞれに適した教育方法をとることにより、各学校の特色を生かした教育を行うことができると考えておりますが、何より重要なことは、子どもが学ぶための最適な規模を考え、よりよい教育環境を作ることだと考えております。</p> <p>まずは事務局より、現在の新居浜市の現状等について説明させていただいたのち、皆様の意見を伺いたいと思います。</p> <p>それでは、詳細については、事務局から説明いたします。</p>
事務局	<p>&lt;資料を基に説明&gt;</p>
市長	<p>事務局から小学校の適正規模、適正配置について説明いたしましたが、た</p>

	<p>だ今の事務局の説明についてのご不明な点も含めて、ご質問やご意見はございませんか。</p>
伊藤委員	<p>一番気になるのは、複式学級についてです。大規模な学校を卒業した児童と比較すると、将来的に差が出来てしまわないか心配します。複式学級については、迅速な対応を取り、避けるべきだと考えます。</p>
三木委員	<p>複式学級よりは、もっと多い集団の中で教育的活動を行うべきと思います。保護者の方もそう希望される人が多いと思います。地域への説明はこれからだと思いますが、今の時点で、学校の適正配置や統廃合について、地域の方の意見や要望はございますか。</p>
事務局	<p>若宮校区で言えば「校区の見直し等の他の手段はとれないのか」や「統廃合しかないのか」等のご意見がございました。1月24日にも地域への説明会を予定しており、広く多くの方と意見交換を行い、より多くの意見を聞きながら今後を考えていきたいと思っています。</p>
長野委員	<p>複式学級になることも問題であり、早急に対応しなくてはならないが、単級の学校が増えてきているということも大変な問題だと思います。単級では、人間関係等を考慮した学級編制もできず、6年間同じ集団でいるというのは子どもの負担が大きくなる面もあります。対症療法的に対応するのではなく、市内の全学校について適正規模を考え、その中で解決していかなくてはならないと思います。</p>
市長	<p>長野委員の言われるように、まず全体の大きな方向を定めなければならないと思う。</p>
宮内委員	<p>今すぐ手を打たなければならないのは、若宮小学校であるが、2、3年後にどうするか対応を決めなくてはならないのは多喜浜小学校、浮島小学校ということですか。</p>
事務局	<p>若宮小学校については、児童のことを一番に考え、地元の意向を踏まえながら、早急に結論を導きたいと考えております。単級の学校につきましては、次年度の早い時期に学校編制の整備検討委員会（仮称）を立ち上げ、検討を進めてまいりたいと考えております。</p>

市長	学校編制整備検討委員会は平成29年度からでないで立ち上げられないのか。できれば、早急に委員会を立ち上げて、その中で若宮小学校のことも検討していけないか。
教育長	複式学級になるという問題が生じたときに、統廃合を視野に入れるということが過去にもあったと思うが、若宮小学校の場合は予想以上にスピードが速かった。もっと事前に手を打つところがあったとは思いますが、今に至っているのが現状で、全体のあり方を考えながら、若宮小学校の問題を解決することは、これ以上先延ばしには出来ないと考えております。
市長	出来るだけ早急に委員会を立ち上げて、並行して若宮小学校の問題に取り組んで頂きたい。
三木委員	資料1ページの児童数と学級数について、特別支援学級の生徒数や学級数は入っているのですか。
事務局	児童数は特別支援学級の生徒数を含んでいますが、学級数に関しては特別支援学級の数は含んでいません。
三木委員	特別支援学級の環境も、児童や保護者にとって重要になっていくと思うので、そういったことも考慮して検討を進めてほしい。
宮内委員	若宮小学校について、事務局としてのタイムスケジュールがあれば教えていただきたい。
事務局	あくまでも現段階の案ですが、平成29年度は複式学級を回避するための努力をしていきたいが、平成30年度は複式を回避することは困難です。
長野委員	保護者の立場からも、早期の対応を望んでいると思うので、スピード感を持って対応してほしい。
伊藤委員	若宮小学校に関しましては、早急に対応が必要と思いますが、新居浜市全体の計画については、都市計画とリンクした面もありますので、いろんな意見もいただきながら計画を練っていただきたいと思う。
教育長	新居浜市の地域コミュニティは、小学校の校区ごとに公民館を設置すると

	<p>いう形になっています。そのことにより、学校がなくなれば地域コミュニティも無くなってしまうと危惧している方もおられますが、それについてはこれまでの公民館を核としたコミュニティを残していく方針を取りたいと考えていますが、皆様はどう思いますか。</p>
宮内委員	<p>高齢化の課題を例にとっても、地域住民に密着するために、公民館は小さい単位で多い方が良くと思う。学校は、教育的配慮から統廃合せざるを得ないが、公民館はコミュニティという別の観点から、残すべきだと思います。</p>
長野委員	<p>私も同じ意見です。福祉や防災の面からも、今まで築いてきたコミュニティは大切にすべきであるため、そのような区切りも残しながらの方が、地域の方にも受け入れられ易いと思います。</p>
伊藤委員	<p>高齢化の中で公民館の役割は大きなものがあると思います。その中で、子どもに対するものは、土曜日の居場所づくりというものがあり、とてもありがたい取組でして、こういった場所は学校が1つになっても、残していくべきだと思います。</p>
三木委員	<p>公民館は地域になくってはならないものだと思います。また、小学校が無くても、公民館と子どものふれあいを作っていく仕組みが出来ればと思います。また、校区の子どもだけではなく、様々な校区の子どもが集まれるような、それぞれの公民館が、新居浜のすべての子どものためにあるというような意識も持ってもらえればありがたいと思います。</p>
市長	<p>公民館に関しては、皆様は学校が統廃合しても、公民館はそのまま残すべきというご意見だと思いますが、公民館に関しては、次の「コミュニティ・スクールの導入について」にも関係してきますので、そこでも議論していただきたいと思います。</p>
宮内委員	<p>若宮小学校の統廃合を進めるうえで、2点お願いがあります。</p> <p>1点目は、校舎の有効活用です。2点目は、新入学生への特例措置等があると思いますが、その際の兄弟への配慮です。</p>
市長	<p>校舎の活用に関しては当面の課題でありますし、兄弟への配慮についてもその方法等により、とても難しい問題でもありますので、このようなことも含め、早急に検討を進めていきたいと思っています。</p>

教育長	<p>今後、義務教育学校というものもできてくると思うが、学校を新たに建てるというようなことを施設の再配置計画に盛り込むことは、現段階の想定にあるのでしょうか。</p>
企画部長	<p>今のところ、人口が減少していく中で施設をどうしていくかというところでは、縮小の中で施設の有効活用も含め統廃合を行っていくという方向で進めています。</p>
市長	<p>小学校の適正規模、適正配置についての議論のうち、若宮小学校については、早急に具体的な対応を検討し、それを行う上で新居浜市全体の学校の適正規模、適正配置、校区の問題も含めた大きな基本方針を早急に検討していきたいと思います。</p> <p>それでは、次の議題に移りたいと思います。</p> <p>コミュニティ・スクールの導入についてでございます。</p> <p>本市では、地域と一体となった教育及び学校づくりを推進するための新たな取組として、コミュニティ・スクールの導入に向けた取組を行っており、来年度から泉川中学校をコミュニティ・スクールとして指定する予定でございます。</p> <p>今後も、地域に根差した教育の推進のために、コミュニティ・スクールの導入を行ってまいりたいと考えておりますが、まだまだ始まったばかりの取組でございますので、皆様にもこの取組についてご意見を伺いたいと思います。</p> <p>まずは、現在の取組状況等につきまして、事務局から説明いたします。</p>
事務局	<p>&lt;資料を基に説明&gt;</p>
市長	<p>事務局から説明がありましたが、ご質問や、ご意見がありましたらお願いいたします。</p>
宮内委員	<p>地域と学校が密接につながっていく取組であり、是非推進していただきたいが、事務局に2点質問があります。</p> <p>資料11ページにある学校運営協議会のところに、「教職員の任用に関する意見」とあるが、意見の調整はどこがするのかということと、学校運営協議会の委員には報酬があるのかということです。</p>

事務局	教職員の任用に関しましては、名指しでは無く、目指す教育方針に合ったどのような教職員が必要なのかという意見を述べるにとどめるようにしています。報酬に関しては支払うことは予定しておりませんが、研修にかかる旅費等に関しましては手当していかなければならないと考えています。
教育長	補足を述べますと、新居浜市の規則において「教職員の任用に関する意見」については省いております。
長野委員	校長先生や管理職の先生は地域との関わりも強くなると思うが、学級を運営している一般の先生においては温度差が出てくると思う。地域と関わる機会が少ない一般の先生においても、このような会に出て、地域と学校の繋がりを肌で感じ、学んでもらえるような組織構成を考えていただければと思います。
教育長	泉川中学校では過去に学校が荒れた時、毎月1回行う学校地域連絡会というものを作り、その会には、毎月1回違う中学校の先生が出席するような仕掛けを作っています。今回、この連絡会と推進委員会を合体させて研修会等も行いましたので、地域と先生との繋がりも深まってきたのではないかと感じております。
三木委員	コミュニティ・スクールになることによって、どのようなメリットがあるのか等を地域住民に知らせていくような場を設けることは何か考えていますか。
教育長	地域住民との接点は重要でして、泉川の場合は、どういう子どもを地域で育てていきたいか、どういう子どもになってもらいたいかというアンケートを取り、その目指す姿を公民館だより等に載せて啓発したりしており、このように目指す子ども像を学校と地域で実現していこうという啓発を進めていこうと考えています。 また、中学生が地域と関わっている活動等を地域住民に知ってもらうものも考えていくべきと思っています。
宮内委員	新居浜市は、コミュニティ・スクールの導入によって、特色ある学校づくりを推進しようということですか。
教育長	そうです。

伊藤委員	<p>不登校やいじめ、家庭環境等、学校の中だけでは消化しきれない課題があるため、地域の力も借りながら学校運営していくことは、とても大切なことだと思います。このようなことから、コミュニティ・スクールの導入は推進していくべきだと思います。</p>
長野委員	<p>課題や問題を、先生だけではなく様々な人と考えていくという学校側からの意識づくりにも力を入れていただきたいと思います。</p>
三木委員	<p>生徒は何かしらの問題を抱えながら成長します。学校・地域・家庭のやらないといけないことはそれぞれあるが、それぞれが抱え込んで解決できていない場合もあるので、それぞれが連携して解決していこうとする全体の意識改革が必要な時代になっているのではと感じます。</p>
市長	<p>学校の運営や教育に関しては様々な意見があり、意識改革についても時間がかかるため、一朝一夕にはうまくいかないと思うが、コミュニティ・スクールの導入を慎重に進めながら、市内すべての学校に波及させていきたいと思います。</p> <p>これで2つの協議事項は終了いたしました。せっかくの機会ですので他に、教育全般に関して何か、ご意見や協議事項等はございませんか。</p>
伊藤委員	<p>別子中学校についてですが、今年の4月から5名の新入生が入学します。子どもも保護者の方も相当な覚悟と決意があったと思います。しかし、寄宿舎については、少し元の計画から遅れていると感じられます。人という鉱脈を発見し、子どもと別子地区の将来をつないだと思っていただき、投資を躊躇しないでいただきたいと思います。</p>
市長	<p>別子中学校に関しては、当初の計画どおりに進めていかなければと思いますが、今までやってきた中で無理があるところも出てきております。寮は建設する方向で協議はしておりますが、今後、どれくらいの予算が適当なのかの検討も含めて、進めていかなければならないと考えております。</p>
三木委員	<p>障がい児教育について、放課後児童クラブにあたる民間サービスも多くなってきましたが、関わる人の支援の一貫性や問題の共有が課題になってくる気がします。また、小中学校については障がい者教育等の場所も充実していますが、高校に進学すると、とても少なくなってしまう。新居浜は、こ</p>



市長	<p>これまで教育的な環境は整っているのですが、障がいを持った方たちが大人になっても続いていけるような環境があればよいと思います。</p> <p>このことについては、福祉部とも連携し協議を行いながら進めていきたいと思っています。</p> <p>さて、長時間にわたり熱心に議論いただき、本当にありがとうございました。</p> <p>頂いた貴重なご意見を踏まえ、より良い教育をめざし、さらに検討を進めてまいりたいと思いますので、今後ともご協力よろしくお願いたします。</p> <p>それでは、本日の会議事項は全て終了いたしました。これにて、閉会いたします。</p> <p>ありがとうございました。</p>
----	--